

伊丹市の地球温暖化対策の取組

伊丹市
総合政策部 グリーン戦略室

目次

1. 兵庫県伊丹市について
2. 伊丹市の地球温暖化対策
3. 取組事例

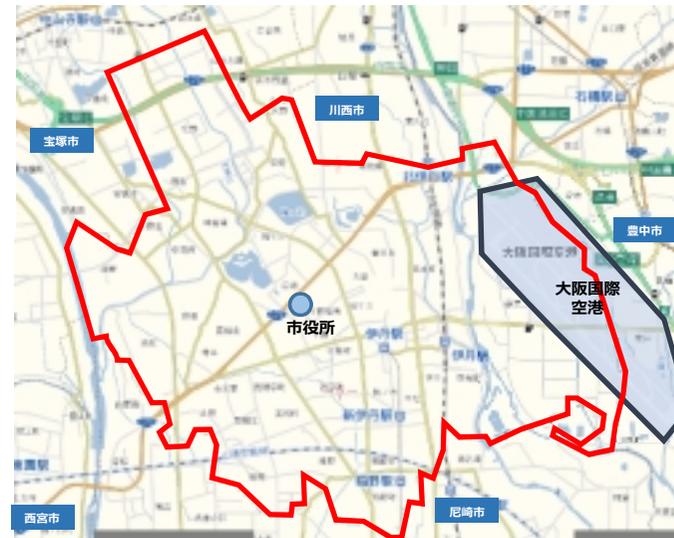
脱炭素社会実現に向けた地域循環共生に関する連携協定

兵庫県伊丹市について

市の特徴（地勢・人口）



- 面積 25.00km²
 - 人口 195,222人
 - 世帯数 84,341世帯
 - 人口密度 7,809人/km²
- (2024/1/1現在)



伊丹市マスコットキャラクター: たみまる

市の特徴（交通の利便性）



伊丹空港 日本全国どこへでも！

- ・北海道から沖縄まで2時間以内。
- ・空港へはJR・阪急伊丹駅から市バス約20分。



鉄道

大阪駅まで最短15分！

- ・JR、阪急利用で大阪（梅田）まで15～20分
- ・神戸（三宮）まで25～30分
- ・伊丹から大阪・神戸、通勤・通学は楽々！



伊丹市営バス

まちの隅々まで走る！

- ・市内各所を網羅し、JR・阪急駅前に向かう路線を中心に、通勤・通学・買い物などで便利。
- ・70歳以上の方には無料パス交付で、高齢者の健康増進、活力をサポート。
- ・特にJR伊丹駅は、ほぼ全ての路線が通ります。

市の特徴（観光資源）

伊丹スカイパーク

・年間来訪者数：約60万人

伊丹空港の滑走路に隣接する公園。
長さ1.2 km、幅80m、総面積約9ha。迫力ある
航空機の離着陸を、間近で見ることができます。



清酒発祥の地

伊丹の地で清酒醸造法を確立したのは1600年頃。
江戸時代に発行された銘酒番付では、上位20位中
19銘柄を伊丹の酒が独占していました。

令和2年6月

日本遺産に
認定されました!!



旧岡田家住宅・酒蔵



伊丹まちなかバル

2009年にスタートした、まちの活性化を目指した“食べ歩き・飲み歩き”のイベント。これまでに29回の開催、参加店舗数80店。音楽イベントも同時開催。



市の特徴（伊丹大使）

伊丹にゆかりの深い著名な方に「伊丹大使」に就任いただき、さまざまな機会を通じて伊丹のまちをPRしてもらい、伊丹のイメージアップを図るとともに、伊丹の応援をお願いしています。



伊丹市の地球温暖化対策

2市の比較



面積	25.00 km ²	×17.5	438.01 km ²
人口	19.52万人 (2024/7/1)	×19.3	377.21 万人 (2024/7/1)
人口密度	7.8 千人/km ²	×1.1	8.6 千人/km ²

温室効果ガス削減目標と実績 (伊丹市調べ)

目標
2030年度

基準年度：2013年度	伊丹市	横浜市
市域	▲48%	▲50%
事務事業	▲48%、▲50%に挑戦	▲50%

実績

市域

伊丹市



横浜市



事務事業



取組方針

2050年カーボンニュートラルの実現に向けた5つの取組方針に基づき、市・市民・事業者が一体となって実効性ある取組を進める

創エネ蓄エネの普及拡大

再エネ発電設備や蓄電池設備の導入

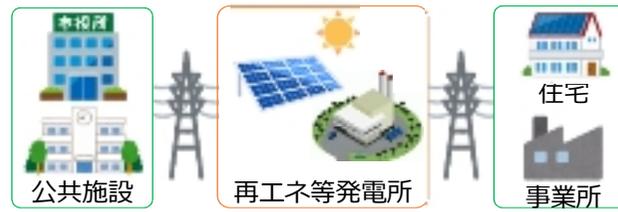


太陽光発電・蓄電池の共同購入支援事業



使用電気の脱炭素化

再エネ電力等の非化石電源比率の高い電力に切替え



再エネ電力の共同調達支援事業

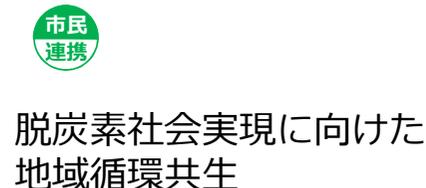


環境価値の創造

削減した温室効果ガスを権利化するシステムの活用等により、環境啓発、環境投資を促進



たみまる太陽光クラブ



省エネの普及拡大

エネルギー使用の合理化



体験型環境啓発イベント



移動手段の脱炭素化

車両を電気自動車等に切替え



公用車の電動化
ゼロカーボン・ドライブ



取り組み事例

脱炭素社会実現に向けた地域循環共生に関する連携協定

2050年カーボンニュートラル実現に向けて

2050年カーボンニュートラル実現には、
森林・海洋保全等による**温室効果ガス吸収（カーボンクレジット）**が必要



【カーボンニュートラル実現を見据えた目指すべき姿】

課題 森林・海洋地域では、人口減少等により単独での自然環境保全は限界
都市地域では、豊富な森林・海洋資源がなく、CO₂吸収源が不足

目指すべき姿 互いの地域資源を生かし、支えあう地域循環共生圏の考えを踏まえ、
環境・社会・経済の同時解決も実現する地域連携が必要



(出典)環境省HP：地域循環共生圏

カーボンをクレジット創出・活用を軸とした連携協定

カーボンをクレジット創出・活用を軸に、各地域の課題解決に向けた取組の実施へ

【カーボンをクレジット創出】



島根県飯南町（森林地域）

森林クレジット創出



島根県飯南町
マスコット い〜にゃん

課題：森林資源を活用した地域活力創出



兵庫県伊丹市（都市地域）

太陽光発電による
再エネクレジット創出



伊丹市マスコット
たみまる

課題：森林・海洋によるCO₂吸収源の確保



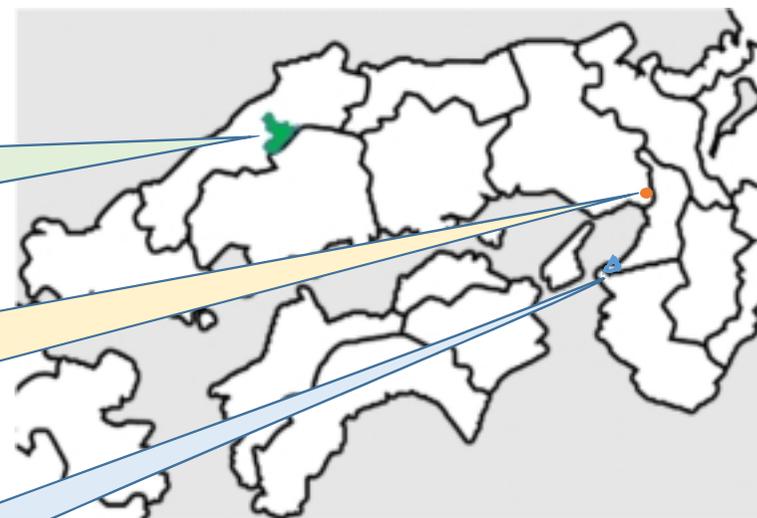
大阪府阪南市（海洋地域）

アマモ(海草)の保全による
ブルーカーボン創出



大阪府阪南市
マスコット はなてい

課題：海洋資源を活用した地域活力創出



【カーボンをクレジット活用】

SOCIALX

株式会社
ソーシャル・エックス

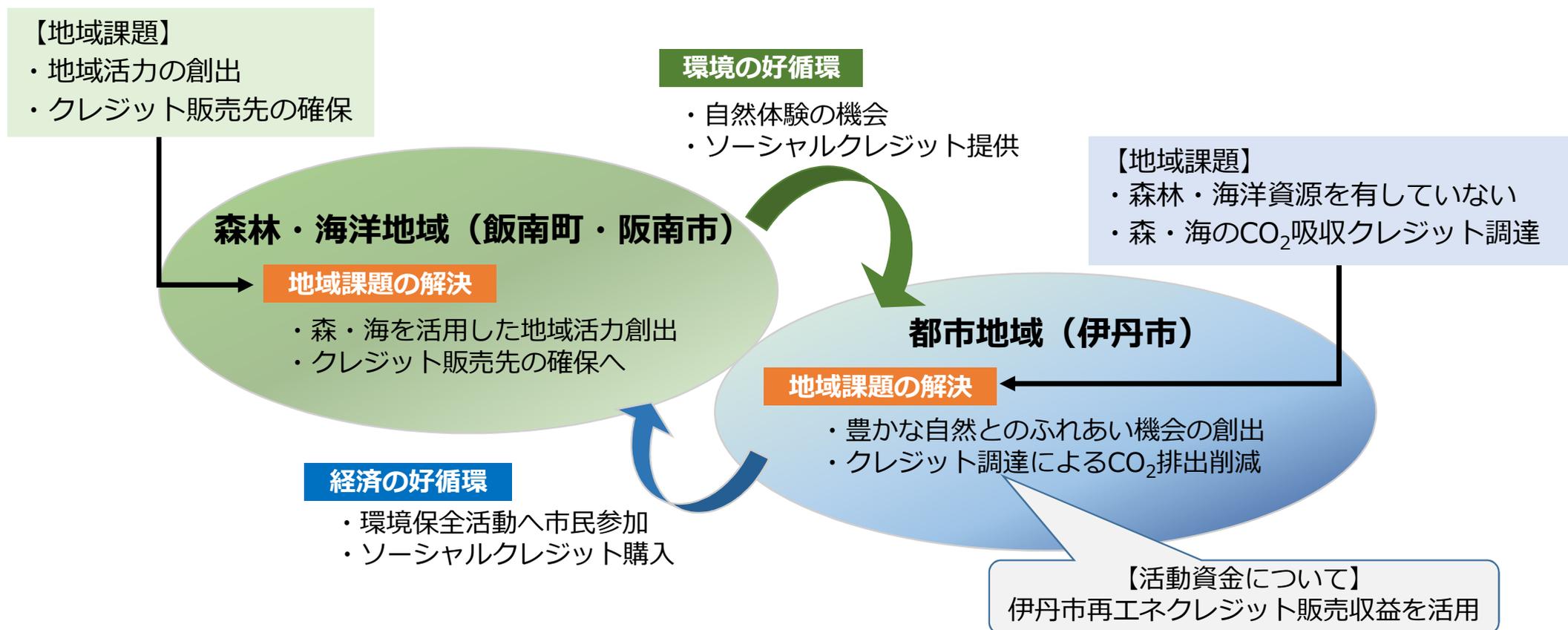
クレジット活用による官民共創を支援

課題：クレジット活用を通じた地域貢献の見える化

自治体連携によるソーシャルクレジット創出の枠組み

カーボンクレジットを軸に「地域課題の解決」「環境・経済の好循環」を実現する

「社会価値も兼ね備えたソーシャルクレジット」創出に取り組む



自治体連携による相互補完

森林・海洋地域

地域課題の解決

森・海を活用した地域活力創出
クレジット販売先の確保

島根県飯南町の取組

飯南町・伊丹市共同の森林保全
(グリーンカーボンクレジット創出)



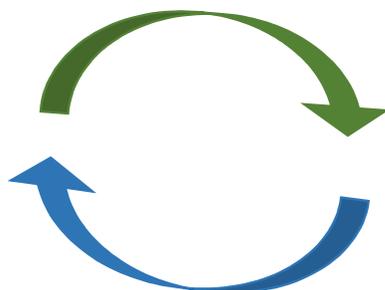
大阪府阪南市の取組

阪南市・伊丹市共同の海洋保全
(ブルーカーボン創出)



環境の好循環

自然体験の機会
クレジット提供



経済の好循環

資金・地域交流

都市地域

地域課題の解決

豊かな自然とのふれあい機会の創出
クレジット調達によるCO₂排出削減

兵庫県伊丹市の取組

(自然保全・再生活動)
市民参加型の
森林・海洋保全活動
(ソーシャルクレジット活用)
伊丹市庁舎CO₂ゼロを実現



【活動資金について】

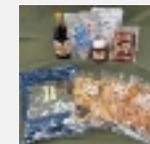
太陽光発電による再エネクレジット販売収益を活用
(再エネクレジット創出拡大の取組)
入会特典として連携自治体の特産品を提供



伊丹市特産品



飯南町特産品



阪南市特産品

自治体連携による取組事例

市民・地元企業・環境団体等と自然環境保全再生の取組を通じて、カーボンクレジットを創出
令和5年度から2プロジェクトを実施中

苗木の里親プロジェクト

- クヌギの実から植林用苗木を育成し植林
- 間伐材を公共施設の木質化に利用



苗木育成@伊丹市



グリーンカーボンクレジット創出



植林@飯南町

海の森プロジェクト

- アマモの植生域を保全・再生するため、種子の採取・播種
- アマモ場による生物多様性の創出を体験・学習



アマモの種子採取



アマモの播種



ブルーカーボンクレジット創出

ZEB市庁舎

【概要】

西日本初(2020/7/29)

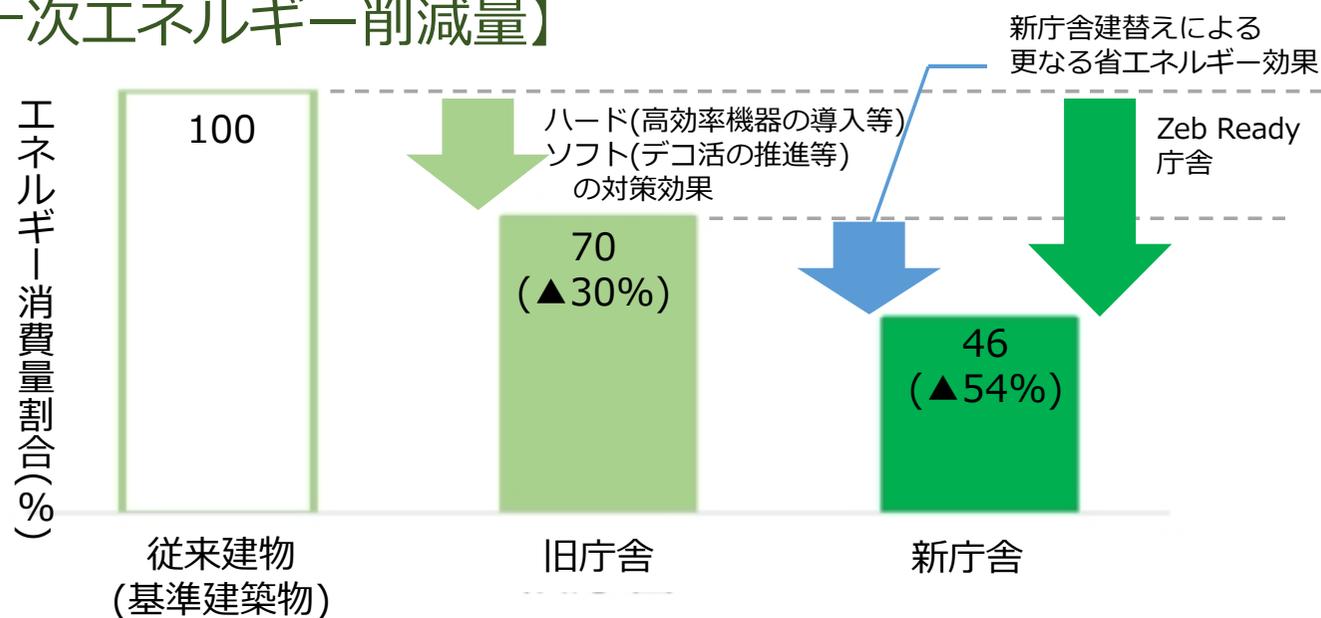
延床面積2万㎡を超える大規模庁舎でZEB Ready認証。

フィン・ルーバーやLow-e複層ガラス、高効率機器(LED、空調等)の導入等で消費エネルギーを削減し、太陽光発電の導入でエネルギーを創る。

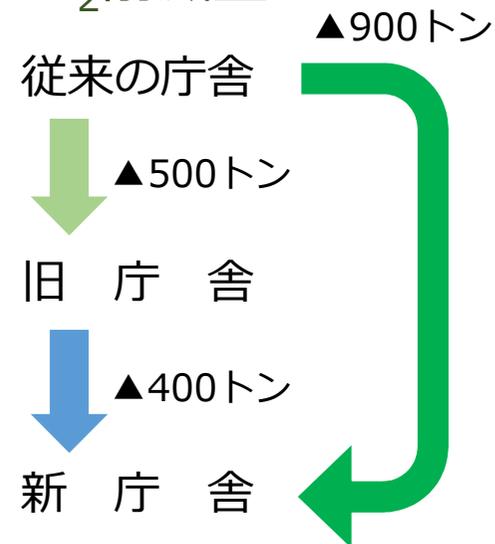
従来建物(基準建築物)と比較して、一次エネルギー使用量を54%削減



【一次エネルギー削減量】



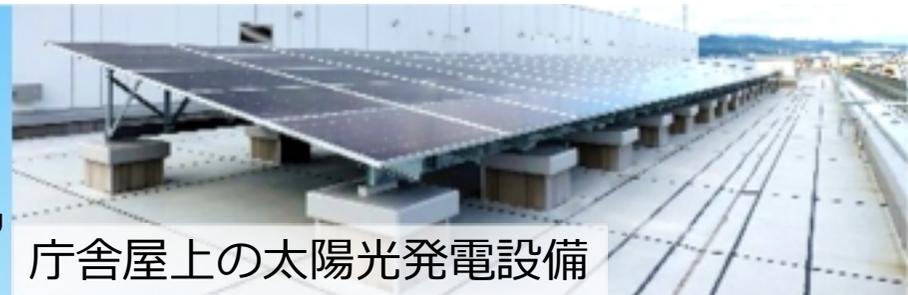
CO₂削減量



※エネルギー消費ベースでCO₂削減量を算定

環境配慮型 市庁舎が開庁

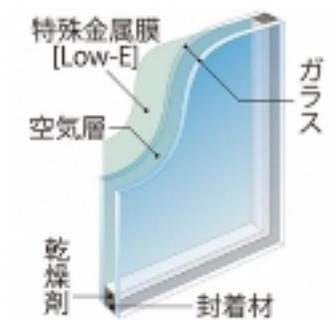
全国初 CO₂ ZERO 市庁舎を実現



庁舎屋上の太陽光発電設備



西日除けフィン



Low-e複層ガラス



電気自動車

CO₂削減



再生エネ100%電力

CO₂削減



グリーンカーボンクレジット CO₂吸収

温室効果ガス排出削減のイメージ

1,700トン

CO₂排出

従来建物
(基準建築物)

0トン

環境配慮
市庁舎

削減
の取組

吸収
の取組

伊丹市庁舎

▲900トン

▲750トン

▲50トン

今後について

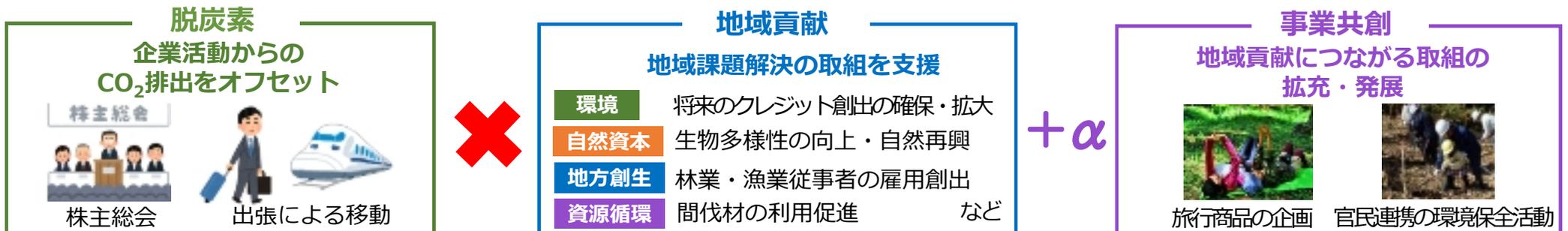
【自治体との連携拡大】

全国の自治体との連携拡大し、カーボンクレジット創出拡大のモデル事例を目指す

【ソーシャルクレジットの企業活用】

企業の課題：ESG経営の社会的な潮流を踏まえ、投資家に対してクレジット活用を通じた地域への貢献を示す必要性がある

課題の解決 ソーシャルクレジット活用による「脱炭素」×「地域貢献」の同時実現



ご清聴ありがとうございました

伊丹市 総合政策部
グリーン戦略室

TEL : 072-784-8054

FAX : 072-784-8136

Eメール : green-st@city.itami.lg.jp



伊丹市マスコットキャラクター
たみまる



ゼロカーボンシティ
いたみ 2050